

経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県 遊佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	33.37	93.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,340	208.39	68.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,758	2.14	2,223.36

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



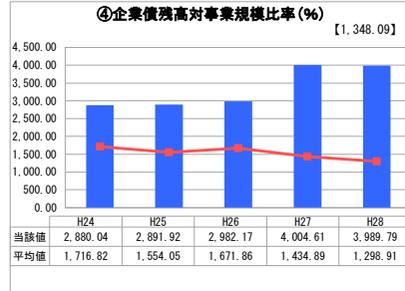
「単年度の収支」



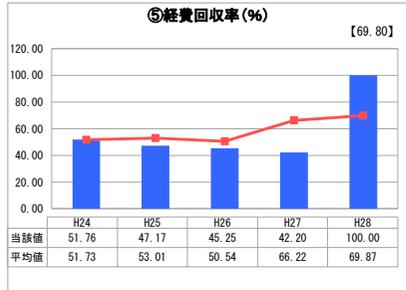
「累積欠損」



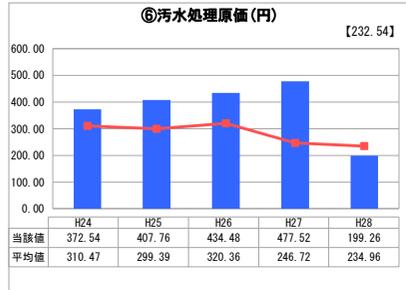
「支払能力」



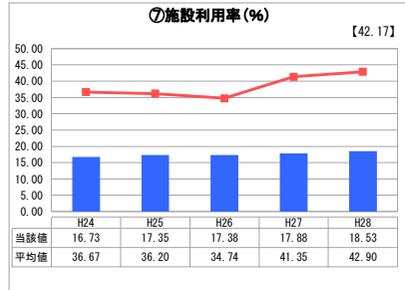
「債務残高」



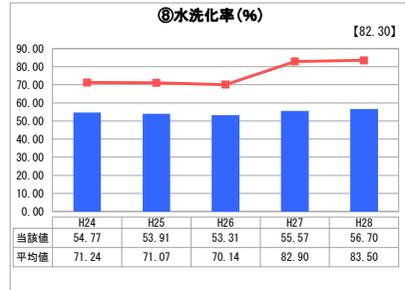
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

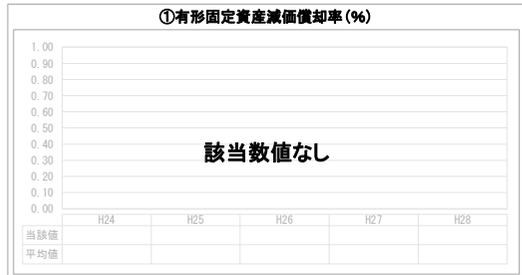


「施設の効率性」

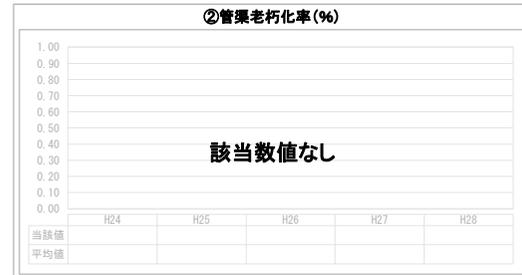


「使用料対象の捕捉」

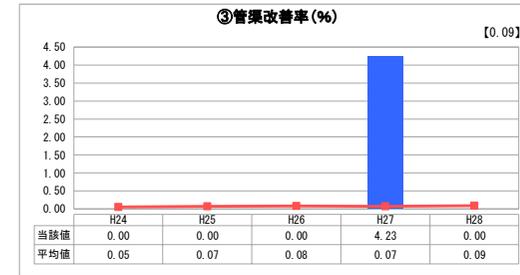
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、決算状況調査の計上数値の適正化により一般会計繰入金を収益的収入に計上したため総収益が増え比率が向上した。
 ②累積欠損比率については、該当数値なし。
 ③流動比率については、該当数値なし。
 ④企業債残高対事業規模比率については、地方債現在高が減少して営業収益が増えたため昨年度よりは比率が下がったが、類似団体と比較すると依然高い数値となっている。
 ⑤経費回収率については、汚水処理原価が低くなったため大幅に向上した。類似団体と比較しても高い数値となった。
 ⑥汚水処理原価については、決算状況調査の計上数値の適正化により汚水処理費が減少したため大幅に低い数値となった。そのため⑤の経費回収率の向上にもつながった。
 ⑦施設利用率は、公共下水道事業と分けて計上しているため低い数値となっているが、整備工事の途中であり接続世帯の増加により処理水量も伸びていることから右肩上がり推移している。
 ⑧水洗化率については、整備工事の途中であり年度によって供用開始の件数も違うため増減があるが最近では右肩上がり推移している。しかし類似団体と比較して依然低く、さらなる接続率の向上に向けた取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

現在整備工事の途中であり、管渠の更新等については未着手である。法定耐用年数が経過するまで期間があるが、計画的な更新について検討が必要である。

※③のH27当該値は、4.23となっているのが正しい。

全体総括

決算状況調査の計上数値の適正化により汚水処理経費が減少したことによって、収益的収支比率、経費回収率、汚水処理原価が改善傾向に転じた。整備工事のため料金収入に対する企業債残高の割合は増加傾向にあるが、公共下水道事業と合わせた全体の企業債残高は年間の償還額を超えない範囲で借入を行っているため年々減少している。今後も健全な経営のため水洗化率の向上と的確な使用料の徴収に努め、使用料収入の増加を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。